

9. 材料価格改定に伴う症例(再掲)



健全歯抜髄と金属裏装ポンティック

① 2 ③ 欠損, ③ C₃処置歯

4/1		再診	38
	1 3	X線 (D) 1F, 1 は有髄歯で歯髄腔大, 3 の根管充填良好. 歯根の傾斜あるも, 彎曲なし	38
	① 2 ③	(横) アルジネート imp (支台歯の平行関係良好, 咬頭嵌合位安定) 3 の歯冠崩壊大. 犬歯部の咬合は緊密	50
4/7		再診	38
		3 歯冠部の崩壊大で咬合緊密なため 3 の支台はメタルコアの支台築造が適応症と診断. 3 と 1 の平行関係および歯髄腔を考慮した結果, 1 は健全歯であるが, 抜髄処置をして 3/4 冠の支台にするのが適当と診断した. また, 歯牙の構造と補綴物をスタディモデルと概要図を用いて患者に説明して同意を得た	—
	3	メタルコア imp	—
		ラバー加算	10
	1	EMR (21 mm, RCP No. 55)	30
		抜髄即充 (OA・2%キシロカイン Ct 1.8 ml 浸麻, CV, セメント裏装)	288
		CRF (ガッタパーチャ+EZ)	110
	1	X線 (D) 1F (根充状態の確認)	38
4/15		再診	38
	3	メタルコア set	172 → ①
4/17		再診	38
		補診 (① 2 ③, ワンピースキャストブリッジの製作, 1 14K 3/4 冠, 前装鑄造冠, 2 14 K 金属裏装ポンティック (リッジラップ), シェード 1 2 A ₂ , 3 A ₃ , 概要図を用いて患者に補綴物の情報を提供)	100
	1	失 PZ (3/4 冠)	630
	3	失 PZ, 前装鑄造冠, 歯肉圧排, メタルコア加算	630+30
		平行測定 (平行測定器使用) (検査結果略)	50
	① 2 ③	連 imp (シリコーンパテ・インジェクション)	275
	① 2 ③	リテーナー set, 仮セ (テンポラリーパック)	100+4×2
		BT (中心咬合位, バイトワックス)	70
4/25		再診	38
	① 2 ③	ブリッジ set	150
	1 14 K・3/4 冠		941
	3 12%金パラ 前装鑄造冠		1,393
	グセ		12×2
	2 14 K・金属裏装ポンティック		857
	2 人工歯 (陶歯)		90
		補管 (① 2 ③ Br) (補管に係る案内書を交付)	330
		実日数 5 日	計 6,604 点

(本誌 436 頁参照)

支台築造（材料料を含む）

	大白歯	前歯・小臼歯
メタルコア	215 (300)	172 (244)
その他	156 (216)	143 (203)

材料 価格改定に伴う保険解説

- 1** メタルコアは、5歳未満の乳幼児もしくは著しく歯科診療が困難な障害者であれば、以下の点数を算定する。

前歯・小臼歯……………244点（材料料を含む）

大白歯……………300点（材料料を含む）

ポンティック（ダミー）（1歯につき、材料料を含む）

鑄造	金 パ ラ		大 白 歯	677 (677)
			小 白 歯	615 (615)
	その他	ニッケルクロム合金 銀 合 金	大・小臼歯	459 (459)
金属裏装	14 K		前 歯	857 (857) + 人工歯料
	金 パ ラ		小 白 歯	555 (555) + 人工歯料
			前 歯	529 (529) + 人工歯料
	その他	ニッケルクロム合金 銀 合 金	前・小臼歯	449 (449) + 人工歯料
前装鑄造	金 パ ラ		前 歯	1,350 (1,350)
	その他	ニッケルクロム合金 銀 合 金	前 歯	1,240 (1,240)

注) 金属裏装を行わないものは、金属裏装ポンティック（ダミー）のその他で算定する。

31



有床義歯の技術料等の包括—局部義歯例

4 2+2 4—7 欠損

主訴 義歯不適合による咀嚼障害

4/1		再診	38
	4 2+2 4—7	(Ⅷ)アルジネート imp (鉤歯の傾斜, アンダーカット量の検査)	50
4/5		再診	38
		補診(スタディモデル, 概要図を用い, 患者に補綴物の情報を文書にて提供) (4 2 1 1 2 4 5 6 7 義歯製作)(文書略)	100
	4 2+2 4—7	連 imp (シリコンバテ・レギュラー)	225
4/8		再診	38
	4 2+2 4—7	BT (中心位・咬合床にて採得)	185
		ChB (矢状顎路傾斜, 側方顎路傾斜, 詳細略)	400
4/12		再診	38
	4 2+2 4—7	TF (排列状態の確認)	100
4/17		再診	38
	4 2+2 4—7	義歯 set (1 床 9 歯, MMA)	1,015
		人工歯 前・臼歯 (硬レ歯)	63+83
		3 3 特殊鋼・線鉤 (両翼レストあり)	145×2
		7 6 12%金パラ・鑄造双歯鉤	419
		12%金パラ・鑄造バー	739
		ろう着	—
		新製義歯調整料	120
		新製義歯指導料 (義歯の取扱い方等を文書にて情報提供) (文書略)	100
4/19		再診	38
	4 2 1 1 2 4 5 6 7	義歯調整, 6 部 Dul: 削合, SP, J	—
		実日数 6 日	計 4,117 点

(本誌 534 頁参照)

材料 価格改定に伴う保険解説

鑄造鉤 (材料料を含む)		双歯鉤		両翼鉤(レスト付)		
		大大・大小	犬小・小小	大白歯	小白・犬歯	前歯
14	K	713(713)	621(621)	606(606)	513(513)	442(442)
金パラ		419(419)	376(376)	342(342)	324(324)	315(315)
ニッケルクロム合金 コバルトクロム合金		225(225)	225(225)	210(210)	210(210)	210(210)

バー (1 個につき) (材料料を含む)

屈曲	金パラ	パラタル	856(856)
		リンガル	813(813)
		不銹鋼・特殊鋼	286(286)
鑄造	金パラ		739(739)
		ニッケルクロム合金, コバルトクロム合金	439(439)

(齒科)

都道府県番号 医療機関コード

3	1 社·国	3 老人	1 单独	2 本外	8 高外	9
齒科			2 2併	4 三外		
	2 公費	4 退職	3 3併	6 家外	0 高外	8

[illegible][illegible]

被保険者証・被保険者
手帳等の記号・番号

氏 名											特記事項	届 出
	1男	2女	1明	2大	3昭	4平	・	・	生			補 管
職務上の事由	1職務上 2下船後3月以内 3通勤災害											総指2

医療機関及び
保険療養の
地名

傷病名 部位																			診療開始日	17 年 4 月 1 日								
	4 2 + 2 4 — 7 MT																		診療日数	6 日 () 日								
																			転 帰	治	ゆ	死	亡	中	止			
初診	時間外 () 休日 () 深夜 () 乳 () 乳・時間外 () 乳・休日 () 乳・深夜 () 障 () 障導 ()																											
再診	38×6 時間外 × 休日 × 深夜 × 乳 × 乳・時間外 × 乳・休日 × 乳・深夜 × 障 ×																		228									
指導	総指	C指	P指	義歯指	100	継続	歯清	衛実	F局	F洗	医管	その他						100										
投薬・注射	内 屯 外 注 調 × × 処方 × 情 × + × 処 × × × 注 × ×																											
X線検査	パ全額標	×	×	模写	50×1	S 培	×	平測	×	基本検査	×	×	精密検査	×	×	その他	ChB	400×1	450									
	う蝕	×	覆罩	×	×	填塞	×	除去	×	×	×	知覚過敏	×	×	咬調	×	×	ラバー	×									
処置・手術	抜歯	×	感染染根処	×	×	根管貼薬	×	×	根充	×	×	抜髄即充	×	×	感根即充	×	×	加圧根充	×	生切	×							
	スケーリング	×	+	×	SRP前	×	小	×	大	×	PCur前	×	小	×	大	×	P処	×										
その他	抜歯	乳	×	前	×	白	×	難	×	理	×	+	×	切開	×	×												
	その他																特定薬剤											
麻酔	伝麻	×	浸麻	×	その他																							
園冠修復及び欠損補綴	補診	100	維持管理	×	×	×	×	印象	×	×	×	×	×	225×1	×	×	×	×	610									
	園冠形成	金活	×	前鑄ジ乳	×	+	×	(窩洞)	×	充填形	×	咬合	×	×	×	×	185×1	×										
	試適	×	×	×	×	×	×	支台築造	メタル	大	×	前小	×	その他	大	×	前小	×										
修復及欠損補綴	インレー単純	×	×	×	×	4ノ5冠	×	全部鑄造冠	×	前装鑄造冠	×	ジ硬	×	×	EE	×	研磨	×										
	乳銀	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	硬	×	×	充填Ⅰ	×	×	×										
	銀バ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	硬	×	×	充填Ⅱ	×	×	×										
	前小二	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	乳	×	×	材	充填Ⅲ	×	×	×									
	大バ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	修理	×	×	料	その他	×	×	×									
	大銀	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	装着	×	×	充 填	×	×	×	×									
	大二	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	装着材料	×	×	リテイナー	×	×	×	×									
14K	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	仮 着	×	×	×	×										
有床義歯	鉗ニ	×	バ小	×	裏装	バ前14K	×	バ小他	×	Br装着	×	×	×	バ屈曲	バ上	739×1	ニ	×	2,729									
	前装バ	×	ニ	×	×	銀	×	線鉤	14K	双レフト	×	不 特	双レフト	×	レスチンバネ	×	人	×										
総義歯	1～4歯	×	×	×	×	419×1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×										
	5～8歯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×										
	9～11歯	1015×1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×										
	12～14歯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	63×1 83×1									
その他	総義歯	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	+	×	×	×	×										
その他																												
摘要																			公費分請求点 数決定	※	点	合計	4,117 点					
																			患者負担額(公費)	※	円	決定	※	点				
																			高額療養費	※	円	一部負担金	減額免除・支払猶予	割(円) 円				



ブリッジの補綴時診断料とスタディモデル

⑤ 4 ③ 欠損, 3 C₂

前々月 4 抜歯済

4/1		再診	38
	5 3	X線撮影 (D) 1F, 3の遠心面 CR 充填辺縁から二次齲蝕の存在を認める	38
		OA・2%キシロカイン Ct 1.8 ml 浸麻	23+7
	3	CR 除去, 間接歯髄覆罩 (EZ), 軟化象牙質除去	15+25
		④ アルジネート imp (支台歯平行関係良好, 咬頭嵌合位は明確で安定. 早期接触なし) 支台歯平行関係は良好で, 生活歯にてブリッジ作製可能. 補綴物の強度が必要とされるため 3は前装 CK, 5は FCK の支台装置でブリッジ作製することが適正であると患者に説明, 同意を得る	50
4/5		再診	38
		補綴 (⑤ 4 ③ ワンピースキャストブリッジの製作, 3前装 CK, 5FCK, 4 鑄造ポンティック, スタディモデルと補綴物の概要図を用い患者に説明, 患者へ文書交付) 4の基底面はリッジラップタイプ, 5 4 咬合面の幅径は小さく, 5 4 の鼓形空隙は NO.3 の歯間ブラシの大きさで	100
	5 3	生 PZ (5 FCK, 3前装 CK) (OA・キシロカイン Ct 1.8 ml 浸麻)	300+790
		平行測定 (平行測定器使用) (検査結果略)	50
		連 imp (シリコーンパテ・レギュラー), BT (パラフィンワックス)	275+70
	⑤ 4 ③	リテーナー set, 仮セ (プロバック)	100+4×2
4/12		再診	38
	⑤ 4 ③	ブリッジ set (装着料) (OA・キシロカイン Ct 1.8 ml 浸麻)	150+23+7
		3 12%金パラ・前装 CK, 接セ	1,393+16
		5 12%金パラ・FCK, 接セ	600+16
		4 12%金パラ・鑄造ポンティック	615
		補管 (⑤ 4 ③ Br) (補管に係る案内書を交付)	330
実日数 3 日			計 5,115 点

(本誌 426 頁参照)

材料 価格改定に伴う保険解説

鑄造歯冠修復

(材料料を含む, 装着料・装着材料料は別算定)

〔大臼歯の冠は生活歯をブリッジの支台に用いる場合に限る〕 〔前装鑄造冠は前歯部に限る〕

		インレー		前歯 $\frac{3}{4}$ 冠	$\frac{1}{2}$ 冠	FCK	前装鑄造冠
		単純なもの	複雑なもの				
乳歯	銀合金	189 (189)	292 (292)			471 (471)	
前歯・小臼歯	金パラ	231 (231)	375 (375)	493 (493)	433 (433)	600 (600)	1,393 (1,393)
	銀合金	189 (189)	292 (292)	391 (391)	331 (331)	471 (471)	1,258 (1,258)
	ニッケルクロム合金	185 (185)	279 (279)	376 (376)	316 (316)	453 (453)	1,218 (1,218)
大臼歯	金パラ	255 (255)	411 (411)		482 (482)	661 (661)	
	銀合金	194 (194)	298 (298)		339 (339)	481 (481)	
	ニッケルクロム合金	185 (185)	279 (279)		318 (318)	456 (456)	
14 K	〔ブリッジの支台として使用する場合〕		732 (732)	941 (941)			



乳歯の生活歯髄切斷 (笑気吸入鎮静療法応用, 5 歳未満)

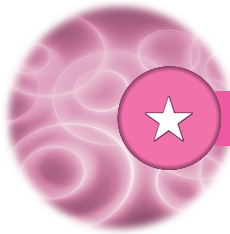
E| C₃ 潰 Pul

主訴 E| の冷水・温水痛

4/7		初診+乳	180+40
	E	X 線 (P) 1 F, 齲蝕が歯髄まで及んでいることを確認	48
		歯科疾患総合指導料 1 保護者に継続的治療の必要性を説明し, 同意を得る。口腔内写真を用い指導, 指導内容を説明 (歯髄を一部除去して, 歯冠修復を行うこと, 笑気吸入鎮静法を併用すること等), 治療計画を策定, 署名, 文書にて情報提供	130
	E	生切のため軟化象牙質一部除去, 仮封・EZ	—
4/10		再診+乳	38+10
		注射に対する恐怖心が強いので笑気吸入鎮静法を併用	—
	E	笑気吸入鎮静法 (IS) 15 分間	105
		アネソキシシ-30 75 l	46
		OA・キシロカイン Ct 1.0 ml 浸麻	—
		生切+加算 (乳歯)	345+60
		KP (複)	102
		連 imp (寒天+アルジネート)	90
		BT	21
		次回はインレーの合着を行うことを説明	
4/13		再診+乳	38+10
	E	銀・インレー 〈OD〉 set, グセ (治癒)	292+68+12
		実日数 3 日	計 1,635 点

(本誌 206 頁参照)

[illegible]



FCK (失 PZ とメタルコア)

6 C₃ 処置歯

4/1		再診	38
	6	X 線 (D) 1F, 根充良好, 根尖透過像なし	38
		次回支台の形成を行うことを説明	
4/5		再診	38
	6	コア形成, imp	—
		次回メタルコアを合着し, 形成・印象採得を行うことを説明	
4/10		再診	38
	6	メタルコア (12%金パラ) set	215
		失 PZ (FCK) + メタルコア加算	160+30
		連 imp (寒天・アルジネート)	60
		BT (中心咬合位, パラフィンワックス), TeK 製作, テンポラリーパックにて仮着	14
		次回 FCK を合着することを説明	
4/17		再診	38
	6	12%金パラ・FCK set	661+45
		カセ	4
		補管 (6 FCK) (維持管理に係る情報を説明, 文書提供) (治癒)	100
		実日数 4 日	計 1,479 点

(本誌 390 頁参照. 明細書略)